

科目名	運動器・体幹							年度	2026
英語科目名	Exercise device / a human trunk							学期	前期
学科・学年	柔道整復科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	加藤健太、有山敦士、宮本功三、後藤晃弘、青木伊之、杉本知、秋田雄大	教員の実務経験		有	実務経験の職種	柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）			
【科目の目的】 当学科では運動器を4つに区分して学ぶことで、入学時より骨と筋についての理解を深め骨折や脱臼に対する学びを盤石とする狙いがあります。脊柱の損傷や肋骨の骨折など、体幹の外傷を学ぶ準備と位置付けるのが当科目の目的となります。									
【科目の概要】 外傷を学ぶ上で欠かすことのできない運動器の基礎について学びます。									
【到達目標】 解剖学をはじめて学ぶ学生のために、体幹を構成する骨・関節・靭帯が身体のどの位置にあるかを理解し、それらの関連を整理・配列し、各形態・構造および機能を把握していくことで進行していく。人体の構造と機能が立体的に把握できるようになる。この科目を学ぶことで、体幹の骨の構成・名称・特徴・数・構成する関節などを理解・習得する。									
【授業の注意点】 国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	脊柱を構成する骨の名称や数ならびにその特徴について完全に理解している。	脊柱を構成する骨の名称や数は完全に理解している。	脊柱を構成する骨の名称を完全に理解している。	脊柱を構成する骨の名称を大体理解している。	脊柱について理解されていない。				
到達目標 B	脊柱の連結について支持靭帯、椎間円板、椎間関節の名称と種類や構造などを完全に理解している。	脊柱の連結について支持靭帯、椎間円板、椎間関節の名称と種類や構造などを大体理解している。	脊柱の連結について支持靭帯、椎間円板、椎間関節の名称については理解している。	脊柱の連結について支持靭帯、椎間円板、椎間関節の名称を大体理解している。	脊柱の連結について理解されていない。				
到達目標 C	胸骨の位置、区分、特徴について完全に理解している。	胸骨の位置、区分、特徴について大体理解している。	胸骨の位置、区分については大体理解している。	胸骨の位置については大体理解している。	胸骨について理解されていない。				
到達目標 D	肋骨について分類・種類や特徴を完全に理解している。	肋骨について分類・種類や特徴を大体理解している。	肋骨について分類・種類を大体理解している。	肋骨の分類については理解している。	肋骨について理解されていない。				
到達目標 E	胸郭を構成する骨と連結部や役割とその特徴について完全に理解している。	胸郭を構成する骨と連結部や役割とその特徴について大体理解している。	胸郭を構成する骨と連結部や役割は大体理解している。	胸郭を構成する骨は理解している。	胸郭について理解されていない。				
【教科書】 教科書は「解剖学」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。分離骨模型を教材室から準備する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		運動器・体幹			年度	2026
英語表記		Exercise device / a human trunk			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	体幹の骨とは	柔道整復師として身につけておくべき知識であることを知る。	1 脊柱の役割	運動器としての役割について理解する。	3	
			2 脊柱の分類	脊柱を構成する骨について理解する。		
			3 椎骨の数	脊柱を構成する骨の数について理解する。		
2	椎骨の基本形	解剖学用語に基づいた知識の重要性を知る。	1 椎骨の基本的構造	基本的構造について理解する。	3	
			2 椎骨が有する特徴	突起や切痕について理解する。		
			3 各椎骨の概要	人体における各椎骨の役割について理解する。		
3	頸椎の特徴①	頸椎各骨の特徴を知る。	1 頸椎の全体像	頸椎の数について理解する。	3	
			2 全頸椎共通の特徴	頸椎固有の特徴について理解する。		
			3 第1頸椎の特徴	環椎の特徴について理解する。		
4	頸椎の特徴②	頸椎各骨の特徴を知る。	1 第2頸椎の特徴	軸椎の特徴について理解する。	3	
			2 第3～第6頸椎の特徴	前結節と後結節の意義について理解する。		
			3 第7頸椎の特徴	隆椎の特徴について理解する。		
5	胸椎・腰椎の特徴	胸椎や腰椎における固有の特徴を知る。	1 胸椎固有の特徴	3つの肋骨窩について理解する。	3	
			2 肋骨との連結部	胸椎と肋骨の連結部について理解する。		
			3 腰椎固有の特徴	3つの突起について理解する。		
6	仙骨の特徴	仙骨各部の特徴を知る。	1 仙骨上端と下端	仙骨各部の用語の使い方について理解する。	3	
			2 仙骨前面と後面	横線と仙骨稜について理解する。		
			3 仙骨側面	耳状面について理解する。		
7	尾骨と生理的弯曲	脊柱の正常な弯曲と異常な弯曲について理解する。	1 尾骨	脊柱を構成する骨の一部について理解する。	3	
			2 正常な弯曲	椎骨の正常な弯曲方向について理解する。		
			3 異常な弯曲	側弯、ストレートネック、反り腰について理解する。		
8	振り返り	前期1回～7回の講義を振り返る。	1 脊柱	役割と構成について理解する。	3	
			2 椎骨	各骨の名称・数・特徴について理解する。		
			3 弯曲	役割と方向について理解する。		
9	脊柱の連結	連結の方法を知る。	1 椎間円板	構成と役割について理解する。	3	
			2 靭帯	靭帯の種類と役割について理解する。		
			3 関節	構造と機能について理解する。		
10	頭蓋と脊柱の連結	頭蓋と脊柱の連結において必要な知識を習得する。	1 連結部	後頭骨と環椎、軸椎の連結部位について理解する。	3	
			2 関節運動	形状による分類について理解する。		
			3 補強靭帯	靭帯の分類について理解する。		
11	胸郭の構成	胸郭について理解する。	1 胸郭の構成	胸郭を構成する骨について理解する。	3	
			2 胸郭の交通路	胸郭上口、胸郭下口、肋間隙について理解する。		
			3 肋骨の分類	肋骨各部の特徴について理解する。		
12	肋骨の特徴	肋骨の各分類や特徴を理解する。	1 肋骨の分類	肋軟骨との区分について理解する。	3	
			2 肋骨12対の分類	真肋と仮肋について理解する。		
			3 肋骨各部の特徴	肋骨頭、肋骨頸、肋骨体の区分について理解する。		
13	肋骨各部の連結	肋骨と胸骨や胸椎との連結について理解する。	1 胸肋関節	胸骨と肋骨の連結部位について理解する。	3	
			2 肋椎関節	肋骨頭関節と肋横突関節について理解する。		
			3 補強靭帯	関節包内靭帯と関節包外靭帯について理解する。		
14	振り返り	前期9回～13回の講義を振り返る。	1 脊柱の連結	椎間円板、主な靭帯、椎間関節について理解する。	3	
			2 胸郭の構成	構成する骨と各骨の特徴について理解する。		
			3 胸郭の連結	胸肋関節と肋椎関節の構成と靭帯について理解する。		
15	総まとめ	前期講義内容についてまとめる。	1 脊柱	各椎骨の名称、数、特徴について理解する。	3	
			2 胸郭	各骨の名称・数・特徴について理解する。		
			3 連結	連結する骨、関節名ならびに補強靭帯について理解する。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等